

# 小児科学

オーガナイザー

小児科 末永 智浩

## I 一般学習目標

成長過程にある小児の特性を十分理解し、急性疾患・慢性疾患、先天性・後天性疾患、感染症、免疫、血液疾患・悪性腫瘍、代謝・内分泌疾患、神経疾患、循環器疾患、消化器疾患など多岐にわたる健康上の問題を家族や地域社会の協力のもと解決できる能力を習得する。

## II 個別学習目標

### (1) 小児科学総論

1. 成長過程にある小児の特徴を説明できる。

### (2) 小児栄養

2. 母乳がなぜ必要なのか、またミルク、治療食についても説明できる。

### (3) 遺伝・染色体異常

3. 遺伝性疾患の考え方を述べることができる。代表的な染色体異常を説明できる。

### (4) 免疫・アレルギー疾患

4. 液性、細胞性免疫不全の特徴を説明できる。食餌アレルギー等について述べることができる。

### (5) 代謝異常

5. 糖尿病、糖原病、ムコ多糖症など独特の症状・酵素診断を説明できる。

6. 高グリシン血症、フェニールケトン尿症や、複合脂質の蓄積症を説明できる。

### (6) 新生児・未熟性

7. 胎児から新生児への循環動態の変化を説明できる。代表的な新生児呼吸障害の診断・治療を説明できる。新生児仮死に対する蘇生法を学び、脳保護療法の重要性が理解できる。

8. 超低出生体重児の代表的な合併症の診断・治療を説明できる。

9. 核黄疸の症状、予防について説明できる。風疹、トキソプラズマ、サイトメガロ、B群溶連菌など周産期感染症の特徴、合併症を説明できる。多胎に関する周産期合併症、予後を説明できる。新生児期に生じる内分泌疾患の原因と診断、治療について説明できる。

### (7) 感染症

10. 代表的ウイルス性疾患については、潜伏期・診断・予防・合併症について説明できる。風疹、麻疹、水痘、EBウイルス感染症など発疹を伴うウイルス感染症を述べることができる。

11. 細菌感染症の重症型である化膿性髄膜炎の診断・治療を説明できる。さらに小児に罹患する細菌感染症の診断・治療を述べることができる。

### (8) 腎疾患

12. ネフローゼ症候群を中心に腎疾患の診断、治療を説明できる。

13. 急性・慢性腎炎の診断・治療を説明できる。

14. 小児に生じる腎不全の診断と治療を説明できる。

### (9) 内分泌疾患

15. 成長ホルモン分泌不全、クレチン症などの診断・治療および負荷テストを説明できる。

16. DiGeorge 症候群、先天性副腎過形成症候群などの診断・治療を述べることができる。

### (10) 小児の悪性疾患

17. 各種表面マーカーを中心に白血病の分類と診断、骨髄移植を説明できる。

18. 血友病、血小板機能異常等の診断・治療を述べることができる。

19. 神経芽細胞腫・Wilms 腫瘍を中心に固形腫瘍の早期診断の必要性、遺伝子診断を説明できる。

### (11) 呼吸器疾患

20. 喘息の概念・治療・診断ガイドラインを述べることができる。鑑別を要する気管・気管支狭窄を説明できる。また細菌性、マイコプラズマ、ウイルス性の下気道感染の診断と治療を説明できる。

### (12) 小児の膠原病・川崎病

21. JIA（若年性特発性関節炎）、リウマチ熱、川崎病の診断、治療を説明できる。

### (13) 小児神経・筋疾患

22. 筋肉疾患の代表的疾患を学び、診断の重要性と日常療育について述べることができる。

23. 脳機能・運動機能が突然に障害を生じる疾患群につき各種画像診断を説明できる。

24. 痙攣性疾患ビデオを中心に観て診断し、治療についても述べることができる。
- (14) 社会との関わりの強い、小児の精神疾患・心身症、小児虐待
25. 小児に生じる精神疾患、心身症の特徴・治療を説明できる。さらに小児虐待も述べることができる。

### Ⅲ 講義項目と担当者

(1) 小児科学総論		
1. 小児科学総論	小児科	徳原
(2) 小児栄養		
2. 小児栄養：母乳栄養、ミルク栄養、離乳食	小児科	徳原
(3) 遺伝染色体		
3. 遺伝相談・染色体疾患	小児科	杉本
(4) 免疫・アレルギー		
4. 免疫・アレルギー：先天免疫不全、食餌アレルギー	小児科	土橋
(5) 代謝疾患		
5. 代謝疾患Ⅰ：糖質代謝異常、ムコ多糖異常	周産期部	利光
6. 代謝疾患Ⅱ：アミノ酸代謝異常、脂質代謝異常	周産期部	利光
(6) 新生児		
7. 新生児Ⅰ：総論、呼吸障害、新生児仮死	周産期部	熊谷
8. 新生児Ⅱ：低出生体重児	周産期部	熊谷
9. 新生児Ⅲ：黄疸、代謝内分泌、周産期感染症	周産期部	熊谷
(7) 感染症		
10. 感染症Ⅰ：ウイルス感染	小児科	前田
11. 感染症Ⅱ：細菌感染症	小児科	前田
(8) 腎・尿路疾患		
12. 腎・尿路疾患Ⅰ：ネフローゼ症候群	小児科	島
13. 腎・尿路疾患Ⅱ：腎炎	小児科	島
14. 腎・尿路疾患Ⅲ：腎不全	小児科	島
(9) 内分泌疾患		
15. 内分泌Ⅰ：視床下部、下垂体、甲状腺	小児科	田中
16. 内分泌Ⅱ：副甲状腺、副腎、I D D M	小児科	田中
(10) 血液・造血器、腫瘍性疾患		
17. 血液・造血器・腫瘍性疾患Ⅰ：小児白血病	小児科	辻本
18. 血液・造血器・腫瘍性疾患Ⅱ：出血性疾患	小児科	神波
19. 血液・造血器・腫瘍性疾患Ⅲ：小児固形腫瘍	小児科	神波
(11) 呼吸器疾患		
20. 呼吸器疾患：気管支喘息、気管狭窄、下気道感染	小児科	杉本
(12) 膠原病・川崎病		
21. 小児の膠原病、川崎病	小児科	末永
(13) 神経・筋疾患		
22. 神経・筋疾患Ⅰ：脳炎・脳症・筋疾患	小児科	田村
23. 神経・筋疾患Ⅱ：運動発達	小児科	津田
24. 神経・筋疾患Ⅲ：てんかん	小児科	津田
(14) 心身症・虐待・発達障害		
25. 心身症・虐待・発達障害	小児科	田村

### Ⅳ 参考書

- 五十嵐隆 編集：第10版 小児科学 文光堂 2011
- Kliegman R. M. et al. : Nelson Textbook of Pediatrics, 21<sup>st</sup> ed. Elsevier Saunders. 2020
- 小児疾患診療のための病態生理 1, 2, 3 : 2014 Vol. 46 増刊号, 2015 Vol. 47 増刊号, 2016 Vol. 48 増刊号

### Ⅴ 評価方法

原則各講義において小テストを実施し、出席を確認するとともに、合格判定の資料とする場合がある。合格判定は、原則、本試験で60%以上の得点をもって、合格とする。

# 講義日程表

小児科学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R4.9.2	(金)	4	小児科学総論	小児科	徳原
2	R4.9.2	(金)	5	小児栄養	小児科	徳原
3	R4.9.5	(月)	5	腎 I	小児科	島
4	R4.9.9	(金)	4	小児の膠原病・川崎病	小児科	末永
5	R4.9.9	(金)	5	血液Ⅱ	小児科	神波
6	R4.9.12	(月)	5	腎Ⅱ	小児科	島
7	R4.9.21	(水)	4	内分泌Ⅰ	小児科	田中
8	R4.9.21	(水)	5	内分泌Ⅱ	小児科	田中
9	R4.9.22	(木)	1	免疫・アレルギー	小児科	土橋
10	R4.9.22	(木)	2	新生児Ⅰ	周産期部	熊谷
11	R4.9.22	(木)	3	腎Ⅲ	小児科	島
12	R4.9.30	(金)	4	感染症Ⅰ	小児科	前田
13	R4.9.30	(金)	5	血液Ⅰ	小児科	辻本
14	R4.10.5	(水)	4	呼吸器	小児科	杉本
15	R4.10.5	(水)	5	遺伝	小児科	杉本
16	R4.10.7	(金)	2	神経・筋疾患Ⅰ	小児科	田村
17	R4.10.7	(金)	3	新生児Ⅱ	周産期部	熊谷
18	R4.10.12	(水)	4	血液Ⅲ	小児科	神波
19	R4.10.12	(水)	5	心身症・虐待・発達障害	小児科	田村
20	R4.10.14	(金)	2	感染症Ⅱ	小児科	前田
21	R4.10.14	(金)	3	新生児Ⅲ	周産期部	熊谷
22	R4.10.24	(月)	2	神経・筋疾患Ⅱ	小児科	津田
23	R4.10.24	(月)	3	神経・筋疾患Ⅲ	小児科	津田
24	R4.10.31	(月)	2	代謝疾患Ⅰ	周産期部	利光
25	R4.10.31	(月)	3	代謝疾患Ⅱ	周産期部	利光